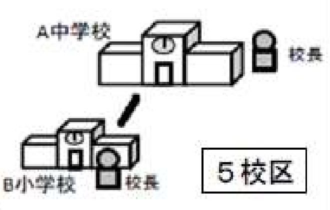
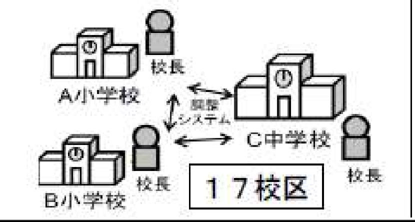
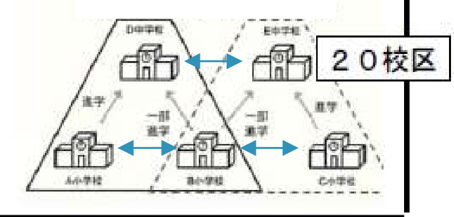
報告（2）

令和６年度（2024 年度）小中一貫校への移行について

① グループ分けと主な取組について

	Aグループ（小１中１）	Bグループ（小複中１）	Cグループ（小複中複）
組織・形態			

		小中一貫教育及び小中連携教育の主な取組	A	B	C
一	①	中学校卒業時点での「目指す子ども像」を共有	○	○	○
	②	９年間を通した小中一貫教育目標の設定	○	○	−
	③	９年間の小中一貫カリキュラムの編成・実施	○	○	−
貫	④	小学校高学年の一部教科担任制の継続（交換授業の推進）	○	○	○
	⑤	小中学校間での乗り入れ授業	○	△	−
	⑥	小中合同行事の開催　（例：運動会、文化発表会など）	○	△	−
連	⑦	学習や生活のルールを小中学校間で共有し共通実践（連携カリキュラム）	○	○	○
携	⑧	小中学校間で児童生徒の情報を共有し、児童生徒支援に活用	○	○	○
	⑨	小中学校が合同で学力テスト等の分析を行い、結果を授業づくりに活用	○	○	○

※　○：中が校区の実態に応じた取組必須，△：中学校区の実態に応じて取組可，―：取組は厳しい

② 熊本市の小中一貫校への移行について

グループ＼年度	R3	R4	R5	R6	R7
Ａグループ（小１中１）	小中一貫校（富合・芳野・河内・江南・二岡） →	→	→	→	→
Ｂグループ（小複中１）	モデル校	小中一貫校（江原） →	→	→	→
		小中一貫校（天明） →	→	→	→
	モデル校	・・・・・・・・	小中一貫校（植木北） →	→	→
	タブレット端末活用モデル校	・・・・・・・・	小中一貫校（楠） →	→	→
		モデル校（下益城城南・城南・五霊・鹿南）	小中一貫校（下益城城南・城南・五霊・鹿南） →	→	→
			モデル校（花陵・城西・飽田・力合・日吉）	小中一貫校 →	→
				モデル校（４中学校区予定）	小中一貫校